



水性共通硬化剤(ウレタイト・アクアタイト用)

- 1.一般名 水性塗料用硬化剤
 2.規格表示等
 2-1.規格表示 —
 2-2.ホルムアルデヒド放散等級分類記号 —
 3.特長 1)水性塗料に容易に混和する。

4.塗料性状^{※1}

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	1.5K、1K、750G、400G			
色相	無色～淡黄色透明			
光沢	—			
密度 (23°C)	塗料	1.10±0.05		
	揮発分	0.90		
加熱残分	71～79%			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	—	—	—
	半硬化	—	—	—
標準膜厚	—			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限～上限)	SDS参照			

※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

6.施工上の注意

- 1)攪拌は、ハンドミキサーなどによる機械攪拌を行い、均一な塗料状態にしてから塗装を行う。必ず主剤を攪拌しながら硬化剤を少量ずつ添加し、泡の巻き込みのないよう注意する。
- 2)可使時間を過ぎた塗料は使用しない。
可使時間を過ぎても混合した塗料の性状は変化しないため必ず見た目ではなく時間で管理すること。
- 3)指定の塗料以外には使用しない。

8.使用上の注意[警告]

- 1.引火性の液体である。
- 2.有機溶剤中毒の恐れがある。
- 3.健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

5.塗装基準

項目	内容			
下地処理	—			
調合法	—			
熟成時間	—			
可使時間	—			
塗装方法	—			
希釈剤	—			
塗 装 法	塗装方法	—		
	希釈率	—		
	標準使用量	—		
	標準膜厚	—		
	ウエット管理膜厚	—		
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	—	—	—
	最大	—	—	—

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

7.関連法規則

危険物表示	第二石油類(水溶性)
有機溶剤区分	—
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—